

感染状況・医療提供体制の分析(6月30日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (6月23日時点)	現在の数値 (6月30日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	16人 (0.8人)	7人 (0.4人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり0.4人</u>と減少傾向も、新規陽性者における接触歴不明者は一定程度存在。 緊急事態宣言解除後も、新規陽性者の減少は継続。しかし、東京では新規陽性者が増加傾向。近隣県でも感染力の強いデルタ株が拡がっており、宣言の効果の意味あるものにするため、<u>今後も気を緩めずワクチン接種も含めた感染対策を継続し、リバウンドを防ぐ必要がある。</u></p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	1人 (6%)	1人 (14%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	13人	3人	→	
		県南西部	3人	4人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在・ ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	5人	6人	→	
割合 (③/①)		31%	86%	→		
医療提供体制	④入院患者数	54人	24人	→	総括コメント レベル1. 通常の体制で対応可能と思われる	
	⑤確保病床における入院割合	11%	5%	→	入院患者・重症者数とも減少傾向を維持。宿泊療養者数は1人、自宅療養者は0となった。予定手術など含め、通常の医療が提供できる体制になってきた。	
	⑥重症者数	8人	4人	→		